

「奄美市笠利町シマ（集落）聞き書き調査活動」

1 学校名 大島北高等学校

2 学年・人数 1・2・3年, 22人（聞き書きサークル）

3 日時・場所

(1) 調査の日時・場所

広島経済大学・琉球大学との高大連携調査・奄美市郷土研究者
8月2日 10:30～12:00 13:30～15:00…笠利地区調査活動
8月3日 10:30～12:00 13:30～15:00…佐仁地区調査活動
8月4日 10:30～12:00…赤木名地区調査活動
13:30～15:00…総合実践室（調査のまとめ）
9月7日 16:00～18:00…総合実践室（DST作成ガイダンス）
9月8日 16:00～18:00…総合実践室（DST作成）
10月1日 8:30～18:00…総合実践室（DST録音編集・鑑賞会）

(2) 発表の日時・場所

7月27日 16:00～17:00・県立奄美少年自然の家
大島地区ジュニアリーダー研修会における実践発表
生徒発表（3年A組土浜・3年C組熊本）
10月18日 16:00～18:00・大島北高
千葉商大連携の打合せ（宮崎緑国際教養学部長来校）
11月22日 16:00～18:00・奄美パーク
千葉商大1年生と高大連携ワークショップ
11月23日 9:00～11:00・奄美パーク
千葉商科大学と高大連携ワークショップ発表会
12月11日 11:00～12:00・奄美市太陽ヶ丘総合体育館
笠利まちおこしフェスティバルにて生徒による活動発表
（3年A組土浜）
12月16日 18:30～19:00・奄美FM夕方フレンド番組出演
3年A組土浜・2年A組畠山・1年A組佐藤・川畑
12月18日 15:10～15:20・笠利地区農業改善普及センター
大島北高クリスマスコンサートでDST動画作品披露
（1年A組佐藤・2年C組川原・2年A組畠山）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称 奄美市笠利町シマ（集落）聞き書き調査活動

(2) 由来

聞き書きサークルとは，地元の集落で高校生が高齢者や名人に話を伺い，それを書き起こし，まとめて地域に還元したり，グローバルに発信することで社会貢献する活動である。

(3) 構成等

赤木名・笠利・佐仁地区で、高齢者や名人に、昔の美しい風景や楽しかったことや辛かったこと、伝え残したいものをインタビューした。話の中で、八月踊りや島唄、奄美の郷土料理・奄美の方言、大島紬等の伝統芸能や文化、美しい島の海や山の風景や戦時中や戦後の仕事や暮らしぶりが高校生に伝えられた。それを書き起こし調査報告誌を作成する。さらに、今回は聞き書きの内容に生徒の感想を加えたビデオ動画（D S T）をまとめた。

5 保存会や地域との連携の具体

奄美市教育委員会からは、マイクロバスの貸し出しや研究冊子印刷費・指導者旅費謝金等の支援をいただいた。

調査対象者の選定等や調査の企画には奄美郷土史研究会の指導支援をいただいた。さらに琉球大学・広島経済大学には、調査の指導助言から、ビデオ動画（D S T）製作の指導D S T作品の支援をいただいた。

千葉商科大学との高大連携ではこれらの聞き書きの内容を素材にした奄美の観光のシンボルを創作するワークショップを企画していただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校では、1年生全員に昨年の聞き書き活動を報じたニュース番組を見せ、目的や内容を周知して聞き書きサークルの参加者を募った。

当日の調査対象者の選定等や調査の企画には、奄美郷土史研究会全面的なバックアップ支援をいただいた。さらに琉球大学・広島経済大学には、調査の指導助言から、ビデオ動画（D S T）製作の指導D S T作品の支援をいただいた。

千葉商科大学との高大連携では、宮崎緑国際教養学部長に全校生徒に対する郷土講演会を実施していただいたり、聞き書きサークルの生徒と国際教養学部1年生が奄美の観光のシンボルを創作するワークショップを企画実施していただいた。

3年の本年度も調査報告冊子の作成を行う。また、ビデオ動画（D S T）もネット上に公開する予定である。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



奄美新聞 7月28日 8面の記事の一部



12月11日奄美市笠利まちおこしフェスティバルでの活動発表

